

希望の鐘

第33号

ひとつのつばみはいちどしかひらかない

道徳の時間の充実

校長 上野修子

この時期、本校では「ローテーション道徳」を行っています。普段は学級担任の先生とともに、自分の心と向き合ったり他の人や社会との関わりについて考えたりする時間ですが、学担以外の先生方と学習するのが「ローテーション道徳」です。

私も2回の全校朝会を使って、前・後編に分けて講話を行いました。「校長の道徳の授業」のつもりです。

情けは人のためならず

1890年(明治23年)、和歌山県熊野灘・潮岬で、折からの台風によりトルコの軍艦・エルトゥールル号が遭難沈没した。大島村の村民は献身的な働きで救助救護にあたった。半農半漁の貧しい村だが、海の男たちは遭難した者がいればどこの国の人間でも助けるのが当たり前で、何の打算もなかった。非常時用の食糧を惜しみなく提供し、家にある衣服をまとわせた。

このことをトルコでは学校の教科書で教えている。トルコに親日家の多い所以である。さて、それから時は流れた。

フセイン政権が大暴走した1980年のイラン・イラク戦争。1985年にはク軍機がイランの首都テヘランの住宅街にロケット弾攻撃をするまでエスカレートした。テヘランには日本の商社員や銀行員、建設関係者、技術者とその家族ら約500人が暮らしていたが、もはや安全ではない。日本航空は政情不安を理由に既にフライトを打ち切り、外国の航空機は自国民優先だった。その危機を

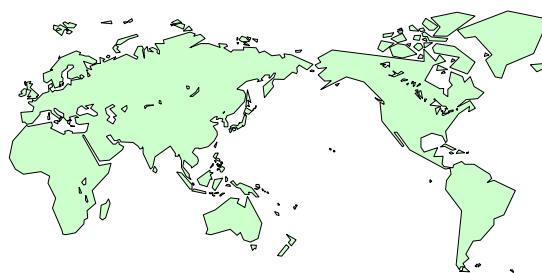
救ったのはトルコであった。トルコのオザル首相は日本人のために特別機を飛ばす決断をしたのである。背景にあったのは「エルトゥールル号事件」だった。「我々はあなた方日本人に恩返しをしなければなりません。」と首相は語っていたのだそうだ。イラクの警告時刻ギリギリの命懸けの脱出は成功した。日本人を優先して飛んだことで救援機に乗れなかったトルコ人たちは陸路自動車でイランを脱出した。フルスピードで走っても3日以

上かかるのに、オザル首相への非難・批判は一切なかったそうだ。

時代を超え国を越えた壮大なドラマに胸を打たれた。

11月の予定

- 11 / 4 (水) 後期時間割開始
- 6 (金) 3年入試説明会
- 9 (月) 教育相談開始
- 10 (火) 生徒総会
- 12 (木) テスト週間
- 19 (木) ~ 20 (金) 4次考査
- 26 (木) JS研修会
小学生の授業参観
- 27 (金) 未来への架け橋講座



合唱コンクール結果 10 / 14

1年生	金賞	1年1組
	銀賞	1年2組
2年生	金賞	2年2組
	銀賞	2年1組
3年生	金賞	3年3組
	銀賞	3年2組
	銅賞	3年1組

小中野中学校同窓会新組織

去る10/14(水)本校図書室で総会が開催され、新しい同窓会長に中村昭則さんが選出されました。
よろしく申し上げます。

文化祭へのご協力、ありがとうございました。(10/25)

(1, 2年生合同のえんぶり・虎舞)



(3年生ステージ・ストンプ)

栄光の記録

八戸市中学校生徒理科研究発表会

教育長賞 (県大会出場)

「なぜシャボン玉はストローから離れるのだろうか」

2年女子

最優秀賞 (県大会出場)

「虫の行動パターンについて」

1年男子

優秀賞 2名

優良賞 3名

努力賞 3名

個人情報に配慮し、名前の掲載はしていません。